

平成23年3月14日

会 員 各 位

社団法人 全日本病院協会  
会 長 西 澤 寛 俊  
医 療 従 事 者 委 員 会  
委 員 長 大 橋 正 實

### 平成23年度「第10回病院事務長研修コース」の開催について

謹啓 会員の皆様方におかれましては、日々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

また日頃当協会の活動に深いご理解をいただき、厚くお礼を申し上げます。

さて、この度当協会医療従事者委員会では、今年度に引き続き「病院事務長研修コース」を開催する運びとなりました。

当研修は病院事務長を対象として毎年開催しており、今回の開催で第10回目を迎えることとなりました。研修カリキュラムは医療行政の動向や医療会計制度、院内コミュニケーション、病院情報システムや法務など多岐に亘り、約8ヶ月（月1単位、全8単位）をかけて研修を行い、評価試験に合格された方を「病院管理士」として認定いたしております。

また受講生には、当研修を通じて習得した成果を最大限に活用し、上司の皆様とのコミュニケーションの一助とする為に、年間合計4回程度、受講生から上司の方に対する受講報告を予定しております。上司の方におかれましては、お手数をお掛けしますが、受講生に対するコメントの記載をお願いしております。

尚、詳細につきましては、今回同封いたしますパンフレットをご高覧いただき、是非ともご参加をご検討いただきたくお願い申し上げます。

参加をご希望の方は、**4月14日(木)まで**にFAXにて参加申込書をご送付ください。多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。

謹白

<p>&lt;お問い合わせ先&gt; 社団法人全日本病院協会 事務局 病院事務長研修コース担当 〒101-8378 東京都千代田区三崎町3-7-12 清話会ビル7階 TEL 03-3234-5165 FAX 03-3237-9366 ホームページ <a href="http://www.ajha.or.jp/">http://www.ajha.or.jp/</a></p>
---

## 第10回 病院事務長研修コース 参加のお勧め (病院管理士認定)

社団法人 全日本病院協会

会 長 西澤寛俊

全日本病院協会は、国民に安全で質の高い医療を医療人が誇りと達成感を持って提供できるような環境整備を行う事を目的に活動しております。各医療機関においては、安全で質の高い、安心できる医療の提供が望まれ、病院経営の一翼を担うべき事務長職への役割期待はますます強まってきております。

このような状況下において事務長には、必要な基本知識はもとより、情報や質の管理にいたる幅広い分野にわたっての見識とマネジメントスキルが求められ、これからの厳しい医療の生き残りをかけた経営改革を提起し、経営計画を策定する能力を高めていくことが期待されております。

本研修は、会員病院の事務長を対象に職能練磨のための講義・演習等を行い、全受講生が自院の「経営健全化計画」を作成します。さらに最終単位時に実施する「評価試験」に合格された方を「病院管理士」として認定いたしております。

今年で第10回を迎える本研修のカリキュラムは、より一貫性をもたせたカリキュラムに更新いたしました。病院経営に必要な基本知識から、一般企業の経営手法を取り入れた経営計画の策定、医療会計制度の現状、コーチングとファシリテーションの基礎と応用、病院情報システムや法務などの管理、経費・委託費の削減方法や物品管理など、事務長職に必要とされる幅広い分野を網羅しており、受講者の皆様から毎年大変好評を得ております。

会員病院におかれましては、すでに事務長の育成・強化のために種々ご配慮をなされてきておられると思いますが、現下の厳しい病院経営環境の中、健全な病院経営・管理の維持・向上のために会員病院からの積極的なご参加をお待ち申し上げます。



### 社団法人 全日本病院協会

全日本病院協会 医療従事者委員会

日本能率協会コンサルティング



第10回(平成23年度)

## 病院事務長研修コース (病院管理士認定)

受講のご案内

ALL JAPAN HOSPITAL ASSOCIATION

### 受講要件

- 受講者は全日本病院協会の会員施設職員であること。
- 受講者は現在所属している医療機関での職歴1年以上の病院事務長、またはこれに準ずる職歴2年以上の経験を有する方で、理事長・院長が適格と認めた方であること(各施設1名)。
- 受講者は研修会において自院の経営健全化計画を作成する為、自院の経営指標や財務諸表及び経営情報を研修会内において開示が可能であり、理事長・院長に経営戦略を提言できること。

- 開講期間／平成23年5月～平成24年1月  
全8単位、各単位2～3日間、1日目13時～最終日15時まで、宿泊研修
- 受講料金／1ヵ年・全8単位 480,000円(宿泊代・一部の食事代含む)
- 受講定員／40名
- 研修会場及び宿泊施設／  
第1、6単位(平成23年5月、10月)  
チサンホテル浜松町  
〒105-0023 東京都港区芝浦1-3-10 TEL03-3452-6511 【アクセス】JR浜松町駅より徒歩10分  
第2～5、7、8単位(平成23年6～9月、11月、平成24年1月)  
ホテルヴィラフォンテーヌ汐留  
〒105-0021 東京都港区東新橋1-9-2汐留住友ビル内 TEL03-3569-2220  
【アクセス】  
○汐留駅(ゆりかもめ)改札を出て右方向へ。歩行者デッキを通り、汐留住友ビル2F入口より徒歩1分  
○汐留駅(都営大江戸線)ゆりかもめ汐留駅方面の改札を出て10番出口方向へ進み、汐留住友ビル地下入口より徒歩1分  
○新橋駅(JR、銀座線、都営浅草線)汐留口より出て、シオサイト方向(地下1階)へ進み、大江戸線汐留駅10番出口方向へ徒歩6分
- 申込締切／平成23年4月14日(木) ※定員に達し次第、受付を終了させていただいております。



### 社団法人 全日本病院協会

# 評価試験合格者には、全日本病院協会が『病院管理士』の認定証を発行

P r o g r a m ●講師は変更になる場合があります。

第1単位 平成23年5月14日・15日(2日間)

## これからの病院経営と事務長の役割

●講師/慶應義塾大学医学部 池上直己、日本能率協会コンサルティング 萩原正英

医療行政の動向を踏まえ、病院経営管理者としての事務長の果たすべき役割を認識します。また、事務長としての役割を全うするために必要な論理的思考法を学びます。加えて、各事務長間の交流を深め、相互研鑽を図ります。

■内容:医療制度改革と病院の対応方向、事務長に求められる役割と能力、よい事務長の条件、問題解決の思考プロセス、病院経営実態調査結果に基づく現状の問題点、マネジメント課題 他

■演習  
ブレインライティング  
手法を踏まえたグループ  
討議と発表

第2単位 平成23年6月11日・12日(2日間)

## 病院における制度会計と財務管理

●講師/日本能率協会コンサルティング 飯田真吾

病院経営の基礎となる医療会計制度の基本を学びます。事務長に求められる財務の基本を学び、財務的センスを、演習を通じて習得します。制度会計の分析を通じて病院の問題点の抽出と改善検討を行います。

■内容:医療会計制度の現状と特徴、勘定科目の立て方についての留意点、月次決算と試算表の作成、キャッシュフロー会計、資金繰り表の作成などの制度会計、診療科別収支計算 他

■演習  
決算書(損益計算書  
および貸借対照表)  
の分析

第3単位 平成23年7月8日・9日・10日(3日間)

### 第3単位-1

## 院内コミュニケーション強化に向けたコーチング

●講師/日本能率協会コンサルティング 田中 信

院内コミュニケーションの円滑化と職場の活性化に向け、事務長として必要な『コーチングとファシリテーションの基礎と応用』について、演習を中心に習得します。縦割り組織の中での有効なコミュニケーションのスキルを身につけます。

■内容:マネージャーに求められる人間関係構築スキル、聴き方、コミュニケーション、職員の動機づけと職場活性化、コーチングの基礎・応用、会議設計とファシリテーション 他

■演習  
グループ内コーチング  
の実践、会議運営の  
実践 他

### 第3単位-2

## これからの人事労務管理の基本と実践

●講師/日本能率協会コンサルティング 斎藤正宏

病院施設の最適な人事および労務管理に関する基本的な考え方や手法を習得します。あわせて人事諸制度の全体構造と機能の関連、組織管理の上で必要な職能や人材区分、今後のあるべき給与体系、人事労務管理において重要な『職員満足度向上』を理解します。

■内容:経営と人事管理、人事戦略の立て方、人事制度の構造と機能、人材区分と昇進昇格、給与の機能と仕組み、人事評価、人材教育と育成、要員管理、労務環境管理のポイント 他

■演習  
事例をもとにした人事  
面での問題解決討議

第4単位 平成23年8月6日・7日(2日間)

## 院内業務再設計に基づく要員適正化

●講師/日本能率協会コンサルティング 平林晃一

院内業務を分析し、業務の実態を「見える化」し、業務を適正化するための手法を習得します。業務の効率化の方法や部署における定員設定の方法を理解すると同時に、患者・利用者の目線で待ち時間を短縮する方法や在院日数を短縮する方法も学びます。

■内容:業務フロー分析、作業分析、稼働分析、作業時間測定手法、業務量測定手法、要員算定手法、待ち時間分析 他

■演習  
自院の問題点を対象  
にした業務分析実習  
他

第5単位 平成23年9月16日・17日・18日(3日間)

## 事務・管理部門における病院管理機能

●講師/日本能率協会コンサルティング 萩原正英、田村健二

事務・管理部門で求められる病院の管理機能について習得します。就業規則や個人情報管理などの病院法務、予算管理と連動した業績管理、リスク管理や危機管理、病院としての広報について学びます。情報システム導入時の企画・調達・運用に至る留意点も理解します。

■内容:法務3類型(治療法務・予防法務・戦略法務)、コンプライアンス、就業規則、規程管理、個人情報管理、管理会計、病院情報システムの潮流、システム構想の構築 他

■演習  
自院の管理機能面の  
問題抽出、自院の管理  
面の問題に対する工夫  
点の全体討議 他

第6単位 平成23年10月14日・15日・16日(3日間)

## 経費・委託費を中心にした費用削減

●講師/日本能率協会コンサルティング 田村健二、平林晃一

費用削減の基本的考え方とその進め方を習得します。経費や委託費を題材にしつつも、その他の費用にも応用できる費用削減の着眼を理解します。また、費用削減の効果を高めるために求められる物品の現品管理・現場管理・2Sの進め方も学びます。

■内容:損益分岐点を軸にした固定費と変動費の分析、消費量分析と単価分析の2側面によるコスト構造分析、ロスの定義とロス構造、適正在庫量、発注管理、業者管理、現品管理、2S・5S 他

■演習  
経費の費目別費用削減  
策検討、委託費削減  
策の検討、SPD等の事  
例発表と改善討議 等

第7単位 平成23年11月19日・20日(2日間)

## 病院経営診断と経営改革計画策定演習

●講師/日本能率協会コンサルティング 萩原正英

経営理念、経営方針から経営計画策定・行動計画までの流れとその進め方を習得します。病院の経営診断の進め方、病院を取り巻く外部や内部の環境分析の方法を学びます。病院の将来構想と環境分析の結果に基づいて、課題を抽出する方法を学びます。

■内容:戦略の体系、経営理念と経営方針、病院経営診断、経営計画策定方法、課題体系化、課題実行計画、市場規模調査、顧客満足度調査法、ライバル病院分析、BSC(バランスト・スコア・カード)、組織風土分析、院内経営資源分析、プレゼンテーション 他

■演習  
事例による病院改善  
演習や自病院の経営  
計画策定演習

第8単位 平成24年1月14日・15日(2日間)

## 総合演習『総合テスト、及び各院経営改革計画発表会』

●講師/慶應義塾大学医学部教授 池上直己、日本能率協会コンサルティング 萩原正英

第7単位の骨子に沿って各受講者が自院の経営健全化計画を作成して第8単元に臨み、自院の健全化計画を受講者間で相互討議することにより、他院の知見やノウハウを相互に学びとります。

■内容:経営健全化計画のグループ内発表によるグループ代表者選定、グループ代表者による経営健全化計画の全体発表 その他

●全8単位修了者には「修了証」授与、評価試験合格者には病院管理士の「認定証」を発行いたします。



特定医療法人 寿栄会  
有馬高原病院  
浅田 耕司

### 事務長研修に参加させて頂いて

研修内容は、「自院の経営改革への提言書作成」に向けた知識、情報の会得と具体策、等を「人」「もの」「金」「情報」面からご教授頂く、という流れで、実践に即す、というスタイルもビジネススクールの的で気に入っておりました。

研修ではご一緒させて頂いた北海道から沖縄までの全国の病院幹部メンバー40名各位とのネットワークが生まれた事、又メンバー各位から、本来はなかなか伺えない内容の個々の病院の実際、実態をお伺いできた点も、得難い経験と感じております。

最終日には慶応大学池上教授の手厳しいご講評もお伺いでき、一般企業では極当たり前の内容が、病院事業ではその特殊性や閉鎖性から発想が狭まっている点を改めてご指導頂いた事も有難かったと感じており、改めて小職が当院に入職させて頂いた意義も理解した次第です。

今後はこの研修で学んだ内容の実践や広く情報を求める為のこちらでの人脈を活かしつつ自院のゴーイングコンサーンに向けた「本格的な1年目」を実践に移して参ります。



医療法人社団善仁会  
小山記念病院  
鈴木 清隆

### 人との絆が最高のご褒美

1単位から8単位までの計8ヶ月間、内容が充実した専門分野を1つずつ学び、最終的には実際になんとか経営健全化計画を立てました。その結果、いかに自分の視野が狭いか、自分のレベルが低いかということを実感しました。

又、たくさんのすばらしい人たちとも出逢いました。我々では思いつかないような視点で鋭く切り付けるが実は優しい池上教授、萩原講師をはじめとしたJMAC(日本能率協会コンサルティング)の温かくとても真剣で充実した講師陣、最高の心配りで研修しやすい環境を提供してくれる全日本病院協会事務局、中村会長・浅田副会長をはじめとするモチベーションの高い9期生の仲間達、このように講義で得た知識だけでなくすばらしい人という財産にも恵まれました。

それだけではなく、今までの受講者の意見も取り入れ、研修終了後も進捗状況確認や進捗状況に対するアドバイスの機会を頂く、フォローアップも予定されています。

受講者からの意見も十分に取り入れ、時代の変化にも常に柔軟に対応していくこの病院事務長研修は是非お勧めします。仕事をやりながらの研修は大変ですが、乗り越えたときの充実感や酒のうまさ、何よりも人との絆が最高のご褒美です。



医療法人川島会  
川島病院  
宮島 彰子

### 病院事務長研修コースに参加して

今回、研修を受けることが決まった時、経営に関して何も知識のない私がついていけるのかと不安でいっぱいでした。また、今までの参加者は男性が多く、毎年の受講生のなかに女性は1名ぐらいしかいないと聞いていたのでそれも不安でした。でも、せっかくのチャンスなので、一生懸命経営について勉強して今後の業務に役立てたいと思い参加しました。

研修はグループワークが多く、他の病院の方々と知り合いになり、色々と情報交換ができてとても勉強になりました。毎回の宿題や理解度テストには苦勞しましたが、実際の業務に役立つ内容ばかりで、毎回研修後はすごく勉強になったと満足して帰ってきました。経費・委託費削減方法を学習した際に、グループ内で価格等の情報交換を行い、自院の委託費を削減することができました。今後も研修で学んだことを毎日の業務に活かしていきたいと思っております。